

編集後記

本号の特集について編集部で話し合っているとき、映画「刑事ジョン・ブック 目撃者」へと話題が横滑りした。小生だけでなく、この映画からアーミッシュを知った人は少なからずいるのだなと意を強くした。ドラマチックな展開とアーミッシュを演じていた女優さんがえらく美人だったことは、こどもごころになんとなく覚えている。ところが恥ずかしながら、キルトが映画のなかで使われていたのかどうかまったく記憶にない。どこまで厳密に考証された作品なのかかわからないが、本号が連動している開催予定の本館の企画展「アーミッシュ・キルトを訪ねて—そこに暮らし、そして世界に生きる人びと」を見てから、そのあたりを含めてあらためて映画も見直すよい機会になるかと考えている。(丹羽典生)

●表紙：アーミッシュ・キルトのベッドカバー

上：もっとも古いアーミッシュの居住地、ランカスター郡でよく用いられるセンター・ダイヤモンドパターンがほどこされている
(製作：1910～1930年代 [推定]、ペンシルヴェニア州。H0279281)
下：ドアの穴からウシがのぞいているようなイメージともいわれる、モンキーレンチのヴァリエーションで作られた子ども用ベッドカバー
(製作：1920年代、インディアナ州。H0269517)

次号の予告

特集

「モノに願いを」(仮)

みんぱくをもっと楽しみたい 人のために—会員制度のご案内

国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引にくわえ、『月刊みんぱく』や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通して多様な文化の情報を提供しています。

みんぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます(特別展示は観覧料割引)。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいあります。

国立民族学博物館キャンパスメンバース

みんぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話06-6877-8893 / 平日9:00～17:00)

月刊みんぱく 2018年6月号

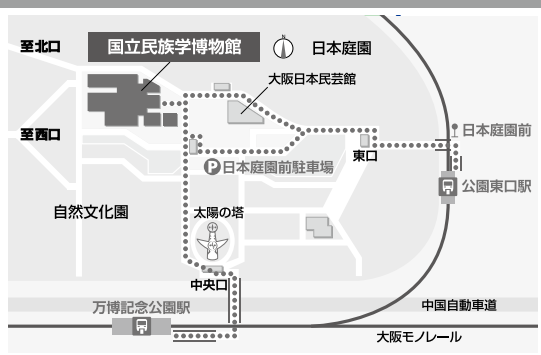
第42巻第6号通巻第489号 2018年6月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 園田直子
編集委員 丹羽典生(編集長) 寺村裕史 三島禎子
南真木人 山中由里子 吉岡乾

デザイン 宮谷一欒 長岡綾子
制作・協力 一般財団法人 千里文化財団
印刷 毎日新聞社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<https://www.facebook.com/MINPAKU.official>

みんぱくツイッター

<https://twitter.com/MINPAKUofficial>

みんぱくインスタグラム

<https://www.instagram.com/MINPAKUofficial/>

みんぱくYouTube

<https://www.youtube.com/user/MINPAKUofficial>

